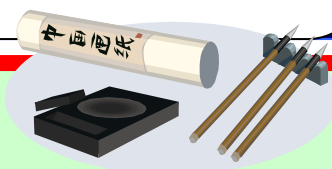


# 倉田コミュニティハウス通信

2009年5月号 NO. 30

〒244-0816 戸塚区上倉田町 1865-4 Tel/fax 045-866-1800



## ☆募集その1

## 書道講座

今はパソコン全盛期で、文字を書くチャンスが少なくなりました。

でも、綺麗な筆文字には憧れます。一緒に書道をしてみませんか！！

対象：どなたでもOKです。参加費：10回で2000円（受講料・消耗品含）

日程：下記木曜日、午後1時から3時、10回のコースです。

6/4・18	7/2・16	8/6	9/3・17	10/1・15	11/5
--------	--------	-----	--------	---------	------

申し込み：5月2日から電話・来館にて受け付けます。先着20名

持ち物：書道道具一式

## ☆募集その2 ギターで歌おう！楽しいフォークギター講座

夢中になったグループサウンズ、皆で歌ったフォークソング、

今度は自分でギターを弾いて歌ってみませんか…

対象：どなたでもOKです。参加費：6回で600円（受講料含む）

日程：下記日曜日、午前10時から11時30分、6回のコースです。

5/24	6/7・21	7/5・19	8/9
------	--------	--------	-----

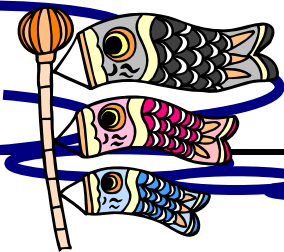
申し込み：5月2日から電話・来館にて受け付けます。先着10名

持ち物：ギター（お持ちでない方はご相談ください。）





# 5月の予定表 詳しくはお問い合わせ下さい。



日	内容・おすすめ		
1(金)	<b>抽選会</b>	10:00 から 2009 年 6 月分の抽選会です。	
2・9 16・23 30 (土)	3 時 にな った ら ラジオ体操プラスお茶	0才~高齢者 どなたでもどうぞ	簡単な体操をして、その後 お茶会です。 <b>参加費 100 円</b> です。
11(月)	<b>秋から始める園芸</b>		若干名、募集中です。 お問い合わせ下さい。
12(火)	読み聞かせプラス フリースペース	1歳~未就園児向けの 子育て支援です。 <b>先着 20 組に</b> 限ります。	<b>午前 11 時から</b> 絵本の読み聞かせや 紙芝居、体操などがあります。その後 <b>午後 1 時まで</b> フリースペースになります。
15(金)	<b>サロン上倉田</b>	高齢者・幼児向けサロン 上倉田社協共催事業	お年寄りも大人も子供も 楽しいひと時をお過ごしください。 <b>午前 10 時から午後 2 時</b>
19(火)	<b>0 歳児クラブ</b>	0 歳児向けの 子育て支援です。	2 期が 1 月から始まりました。 詳しくはお問い合わせください。
19(火)	まちの保健室 フリースペース	0才~高齢者 どなたでもどうぞ。	血圧や体重測定をし、看護師さんに 生活習慣病などの相談ができます。 <b>午後 2 時から 4 時まで</b>
20(水) 22(金)	<b>ハートぽっぽクラブ</b>	1才~2才半向け 子育て支援事業 上倉田社協共催事業	親子で歌ったり、遊んだり、楽しい こといっぱいです。 <b>活動費 100 円 です。午前 10 時から午後 1 時まで</b>
24(日)	<b>ギター講座</b>	詳しくは 1 面をご覧ください。	
25(月)	<b>休館日</b>	全館点検のためお休みいたします。	
27(水)	<b>上倉田社協食事会</b>	高齢者向け会食会 上倉田社協共催事業	おいしいお食事を食べて、 ゆっくりお過ごしください。 <b>午前 11 時半~午後 2 時</b>

# 皆さんのページ

このページは倉田コミュニティハウスで楽しく集っているサークルやグループの活動を紹介したり、仲間を募集したり、作品を載せたり、皆さんがご自由にお使いいただけるページです。



私達は年齢を問わず、子供から高齢の方々に見ていただける様に努力し、活動をしています。出し物も民話・洋物と幅広く取り組み、自分たちは勿論、多くの方々に楽しんでいただけたらと願いつつ、人形・道具等、全部手作りしています。今迄、老人施設や子供会等、多くの場所で公演し、とても好評を得ています。ちょっと覗いてみようかなと思われた方は気楽にご連絡ください。参加していただけたらとても嬉しいです。

**活動日：毎週 月・金曜日 午後**

**活動費：1ヶ月 1000円 代表者連絡先：牧野 Tel：045-803-0392**



## スタッフのひとり言

「あなたは今、幸せですか？」こう聞かれると答えに躊躇するだろう。でも今の私は、胸を張って「はい」と答えられる。毎朝早く起きて、お弁当を作って、雨の日も風の日も犬の散歩に行き、掃除洗濯…。尽きることの無い家事や雑用の中で、「幸せ」について考えることなどなかったものだ。

しかし、約2年前何気なく受けた検診で再検査という結果が出て、専門の病院で検査を重ねるうちに、もしかしたら今までと同じ生活は送れないのではないかと不安になった。また同時に、母が治ることのない難病になり、入退院や痛みを伴う治療を続けていて、かつての元気な母を見ることはない、という現実を受け入れざるを得ない段階になった。普通の生活—それは本当に貴重なものなのだ、と急に思うようになった。日々の煩雑さの中でつい忘れていたが、それこそが「幸せ」なのだ。健康のことだけでない。愛する家族や信頼できる友人に囲まれて、何事もなく一日を過ごせたこと、これはもう奇跡なのだ。楽しんだり喜んだり、また反対に悩んだり苦しんだりすることも、そう感じる事ができる毎日、それはとても有難いものなのだ。

私は毎日を大切に一生懸命に生きていきたい。それは何も、いつも気を張ってできる限り頑張っ…ということではなく、こうして生活していただけることが幸せなのだ意識しながら、自分に与えられたこと、自分が今できることを、自分に正直に静かに全うしていきたい。

【M・K】